

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 魚津常義  
 幹事 二村 聡  
 I.T委員長 油 田 弘 佑

No.33

## 超 我 の 奉 仕

## SERVICE Above Self

2005～2006年度 RI会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

### きょうの例会

第1131回 平成18年 4月25日(火)  
 友愛の日

### 先週の記録

第1130回 平成18年 4月18日(火) 晴  
 クラブフォーラム (地区協議会報告)

◆黙祷 歴9代目成田良治会長を偲んで

### 成田真吾様会葬お礼挨拶

先日のお葬儀には多くの方にご会葬賜り有り難うございました。

私にとりましてまだまだ教わる事がたくさん有り、73歳は若かったと思いますが、ロータリーでの23年間は家族会、麻雀、ゴルフと皆様に良くして頂き、お世話になりましたこと、厚く御礼申し上げます。

これから家族と一生懸命頑張ってみます。

本当に有り難うございました。

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会 員	57 (54) 名	出 席	43名
出席率	79.63 %		
前々回	4月3日 (修正出席率)		85.19%

### 二村幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は2階オーキートルームにお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、クラブアセンブリーを開催致しますので、現・次年度理事役員、各委員会委員長はお残り下さい。

### 小山環境保全委員長報告

昨年の地区協議会において継続事業を考えて下さいとお話があり、委員会として植樹を計画致しました。

三好君より合歓の木が良いのではないかと提案頂き皆様に参加の呼び掛をさせて頂きましたところ26名の方から合計45本の希望となり、実現する事が出来ました。有り難うございました。

つきまして、本日例会終了後、苗木を用意させて頂

きましたのでお帰りにお持ち下さい。

この後、足立君に植樹のポイントを説明頂きます。是非、是非、次年度も継続事業としてよろしくお願い致します。

### 魚津会長挨拶

春季家族会、6RC合同例会が続き、久しぶりの通常例会となりました。

16日の日曜日には次年度の勉強会、地区協議会が開催され、私の任期例会数も指折り数えられる程となっており、皆様にはもう暫くご苦勞をお掛けしますが宜しくお願い致します。

先日は大変残念なことに成田さんがお亡くなりになり、チャーターメンバーとしてご入会后、歴代9代目会長を努められ寂しいことでは有りますが、23年間有り難うを申し上げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### 地区協議会報告

◆宮尾紘司君 (第2分科会)

第2分科会のテーマは「ロータリーを学ぶこと」を考える。サブテーマはロータリーの哲学についてであった。次期地区運営方針は「原点回帰」である。「第2世紀を歩み出したRCは、改めて自分達の足許を見つめ直し、内部崩壊をくい止めねばならない。過去を振り返ることは、未来への責任とされているが、その為にRC100年の歴史を学び、RCの精神を、クラブ運営の原理原則を、改めて確認することが大切である。」と次年度斉藤ガバナーの方針を受け、原点回帰という事で「超我の奉仕」をもう一度考え、自己のものにしよう。そして奉仕哲学を基に実践原理である「最も奉仕する者が、最も報われる」を各自理解すべきである。クラブ奉仕を第一義に各RCの基盤をつくって欲しいという事であった。RCは奉仕団体でない、奉仕する会員の集まりと、個々のロータリアンの多様化により各自「寛容」を養い、常に最適解を出すロータリーを考えるプログラムが必要。RCの運営はもっと簡素化し、例え一年右や左に振れても次には自浄作用で元に戻るバックボーンがなければならない。等々各リーダーの言であった。

◆三好 親君 (第3分科会)

第3分科会はメインテーマとして「例会を楽しく出席率向上」をサブテーマとして「例会のプロデュー

サーはあなたです」について地区の各委員長からお話があり、共通して言われたのはクラブ奉仕が根幹であり最も重要である。クラブ奉仕のスタンスにより、楽しくもなり、有意義かつ増員にも繋がることでしょう。美味しいランチを食べ、話をするだけで終始してはなりません！

特に例会出席することにより、自己の資質を向上させ、人格を高めてこそ魅力あふれる例会となるのです。さすれば魅力あふれる会員となるのです。例会を通して様々なマナーを修得する様心がければ素晴らしいロータリーとなる事と思います。とりあえず中途退席を避けて1時間最後まで出席することに努めて下さい。

クラブ奉仕の中にはいくつもの委員会がありますが、それぞれの活動は異っていても原点回帰によって基本に基づいて考え行動すれば、前述の様に魅力あるロータリアンすなわち

- ・豊かな教養とたしなみ、ロータリー精神を持ち
- ・学問、芸術、スポーツ、マナーに関する見識と諸文化に対する理解を示し
- ・仕事を通して社会に貢献し、厳しい規律、倫理概念を常に持ち、慈悲のこころと寛容の精神で実行力を身につける。

に少しでも近づくことでしょう!!

#### ●佐久間良治君（第7分科会）

第7分科会に榎尾ローターアクト委員長と出席しました。まず松本パストガバナーが新世代の在り方について語られ、次期地区新世代加藤委員長から、2006年～2007年度RI会長のテーマ「率先しよう」を基に齊藤ガバナーの「原点回帰」地区テーマの指針に掲げて精神を唱えて、今新世代の育成の為何かをこころしなさいといけない時代であると共に新世代に対する奉仕のあり方を見つめ直す必要があるとのべられ、引き続きインターアクト、ローターアクト、ライラの地区委員長よりそれぞれの沿革現在の状況について報告がなされた。

新世代委員会で他に何かよい事業が行われればと思ひ当会員よりの提案をお待っています。

最後に新世代担当者以外の会員にも積極的に参加をお願い致します。

#### ●川端 圭さん（第10分科会）

「ロータリーとは？」入りて学びて出て奉仕せよアメリカで始まりシカゴ大会が始めてで一番目の活動は公衆トイレを作ることだったそうです。個人奉仕が基本で団体の奉仕はサンプルにすぎないとの事。最も奉仕するものが最も報われる

他のボランティアとは全く違うものである

例会の出席率60%以上必ず出ること

(35分以前に退席又は同席していないと欠席と思ひである)

出席率の悪い人ほど退会するが、その原因は

- ①例会がおもしろくない
- ②仕事が忙がしく出席出来ない

#### ③会の中でのトラブル

例会での席を同じ人ばかりでなく沢山のひとと接することが出来るよう心がけ工夫する

#### ●吉田 玄君（第1分科会）

本会議ではホスト名北RC横田徳久会長、高橋治朗ガバナー、齋藤直美ガバナーエレクトの挨拶があり、次期RI会長のウィリアム（ビル）B.ボイド氏のテーマ「Lead the way」（率先しよう）が説明された。

ボイド氏の強調事項は、水俣全（水系伝染病で6000人/日の子供が死亡）・識字率向上・保健および飢餓（ポリオプラスetc）・ロータリー家族（青少年交換・IA・RAetcの青少年プログラム）である。

また、次期地区運営方針は「原点回帰」—その精神（こころ）を受け継ぎながら—とされた。

「原点回帰」とはポリオプラスの終了が近い事、万博・ロータリー館が終了した事、中部空港が開港した事などをRCに日常性が戻った今「今一度、クラブ奉仕を軸にした青臭いロータリー論を語ろう」という意味である。

具体的には「100%の出席率をめざし途中退席をやめクラブ奉仕に徹しよう」「ロータリー財団・米山記念奨学会へ協力しよう」「IMを成功させロータリーを学ぼう」「地区研修委員会・地区ロータリー情報委員会を新設する」などが挙げられた。

第1分科会のテーマは「よいクラブをつくるために」サブテーマは「リーダーの役割」とされた。

齋藤ガバナーエレクトは「一級の会長挨拶は素晴らしいがそれは自分史に過ぎない。クラブの将来・運営を考えることが会長・幹事の第一の仕事」と強調された。

川島地区幹事は「会長は決定権をもつ代表役員、幹事は執行役員のトップ。会長幹事がしっかりと意思疎通を」と説明された。

また、江崎ガバナーノミニエがアドバイザーとして説明した「CLP」（クラブリーダーシッププラン）の内容が参加者の興味をひいていた。

CLPは2004/11月のRI理事会で決定されたものであるが弱り始めたクラブの蘇生策であり活動の継続性（委員の任期は3年）委員会のスリム化（簡易な委員会構成）を求めている。単年度主義からの脱却を試みているとも言えそうである。

具体的には、4大奉仕（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕）に基づく取り組みを担当する新常任委員会（理事）構成として、会員増強委員会（会員勧誘・退会防止）クラブ広報委員会（一般への広報）クラブ管理運営委員会（現状はクラブ管理機能が不十分。親睦・設営etc）奉仕プロジェクト委員会（社会貢献）ロータリー財団委員会（財団支援）の5委員会が主体となるものである。

会員増強委員会がトップに据えられているのもRCの現況を象徴しており考えさせられた。

●ニコボックスは次回掲載と致します。

次回例会 平成18年5月9日(火)

講演 「「スペシャルオリンピックス」とは」 スペシャルオリンピックス日本・愛知会長 井形昭弘様(名古屋学芸大学学長)